2018年度　　事　業　計　画　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2018年1月1日から2018年12月31日まで

　　　　　　　　認定特定非営利活動法人　　脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

1事業実施の方針

１)事業内容

認定ＮＰＯ法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会(以下、本会)の基本的な事業は、定款に照らし

合わせ下記の通り。

（事業）

第５条 本会は、第３条の目的を達成するため特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行なう。

（１）鞭打ち症（病気の名称でなく患者が感じる症状）になりうる原因の資料の収集及び調査研究。

（２）「脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群)」の知名度普及活動

（３）「脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群)」に関する情報を諸外国に発信。

（４）日本国内の関係機関・団体との連携・協調

（５）本会が企画する出版物の販売

（６）その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

２) 2016年度、「ブラッドパッチ保険適用」が正式に決定した。悲願達成であります。

発足以来、第一目標に掲げた事が、現実となった。患者家族、関係者の執念の戦いであったと思います。

改めて御礼を申し上げます。しかし現状2018年１月現在も課題が山積みであります、具体的な事業は「営利、非営利、助成事業」の昨年と同様３本柱となる、ただし助成事業については採用された場合に限る。根本的な活動に昨年とあまり差異はない、細かい事業計画については「別紙１」に詳細を書いていますので参照いただきたい。

２　事業の実施に関する事項

１)特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支払い見込み額（円） |
| 目的を達成する為に非営利事業（活動）○資料の収集及び患者実態調査○講習会セミナー開催* ネット情報発信事業（知名度向上など）
* 各地方行政への働きかけ
 | 定款（事業）第五条にかかげた目的を達成する為に行う事業の内、非営利活動をいう。今期の目標はあくまでも保険適用後の課題対策と患者支援。そして認知度向上、行政協力求める事を達成する。社労士チームと障害年金受給率アップを目指す活動（特に障害年金事例集改定を目指す本を出版する）**世界発信事業と世界の医師を招いたシンポジウムは非営利事業とする** | １月～ | 全国 | 担当：全社員 | 不特定多数 | 3,400,000 |
| 助成金事業**目的：**日本が世界にさきがけてリードしている脳脊髄液減少症の情報をネットで世界に発信することを目的とする。2017年度助成事業の成果として、本疾患の基本治療であるブラッドパッチ療法がいよいよ2016年度から保険適用された。今まで全国に十数人の専門医で治療をおこなってきたが、保険適用後、「医学の教科書」に記載がない本疾患（病気）の治療法を混乱なく広めていく。 | **昨年10月に申請した日本財団の助成金第4期が採用されたが大きく減額され半額の120万円なった、申請した世界発信事業と海外の医師を招いたシンポジウムは不採用となった。別紙参照****目標：**１．2017度末までに連携がとれなかった 行政との連携2.「脳脊髄液学会」の事務所開設（大学病院内）の準備3.データ蓄積（DB) 事業要項の詳細は後日協会HPで公開する（申請・募集制）小児対策を開始する |  | 各事務所各地方 |  | 不特定多数 | 4,200,000 |
| 営利事業１）本会企画の出版物の販売 | ○患者の救済や支援となる本を企画する | 年内2冊2冊は企画が通っているDVDは数枚 | 各事務所 | 5名以上 | 購買希望者 | 600,000 |
| 営利事業２）患者相談準備費(病院紹介事業) | メール・電話・直接相談及び病院の紹介事業。※直接面談業務について２時間（会員）無料交通費必要経費は別途**会員以外は有料なので収益事業となる** | 随時 | 各事務所 | ３名前後 | 不特定多数 |  300,000 |
| 事業によって　非営利活動と収益事業に別れるその他、本会の目的を達成するために必要な事業。 | 本会存続の為の活動費確保・その他（下記参照） |  | 各事務所 | 他３名前後 | 不特定多数 | 100,000 |

2017年度　　「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書

　　　　　　　　　　　　　　　2018年1月1日から2018年12月31日まで

認定特定非営利活動法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |
| --- | --- |
| 科目 | 金額 |
| * 1. 会費入会金収入

入会金収入および会費収入 | 5,000,000 | 昨年は目標600万に対し4,686,200円目標78%の達成 | ★　会員の増加を計る |
| * 1. 補助金収入

公民間助成金収入 | 　　4,200,000 | 今年も日本財団助成事業を申請する。　昨年は240万円**今年は国の助成金も目指す** | ★今年4期目申請、来年受給を目指す |
| * 1. 寄付金収入
 | 6,000,000 | 昨年600万の目標に対し3,429,049円　目標57%達成**今年は600万円(理由別紙)** | * ポイント

認定NPOの効果海外からの寄付に期待 |
| * 1. 出版物販売（鞭打ち症

克服の実用書）売上収入 |  100,000  | 50万の目標に対し134,380円今年は10万を目指します | ★２冊の本発刊予定DVDを製作予定　時間がかかる　 |
| * 1. 依頼を受けた講演

セミナー収入講演セミナー | 　　　　 300,000 | 目標30万に対し200,000円であった。 保険適用効果を目指す活動計算書では業務委託費に計上 | 今年も３０万円を目指す |
| * 1. 患者相談収入及び病院

患者相談及び病院紹介事務手数料 | 　　　　　　100,000 | 目標20万円に対し　100,000円今年は10万円を目指す。活動計算書では業務委託費に計上 |  |
| ７）その他の事業 |  300,000 |  |  |
| 雑収入 | 　　50,000 | １)〜７)の事業にあてはまらない収入 |  |
| 収入合計(A) |  16,050,000 | 前期繰り越し11,835,835 | 合計(B)27,885,835 |

支出の部

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （事業費）「特定非営利活動事業」資料の収集及び患者実態調査や講習会セミナー開催費（各地方行政への働きかけ活動）又脳脊髄液減少症に関する情報発信及び活動脳脊髄液減少症に知名度普及活動に関する事業 | 3,500,000 |  |   |
| 「収益事業」本会企画の出版物の販売費 | 　500,000 |  |  |
| 「収益事業」患者相談準備費 |  300,000 |  |  |
| その他の事業 |  150,000 |  |  |
| 「助成金事業」 | 4,500,000 |  |  |
| （管理費）　 | 6,000,000 | 給与・光熱費・家賃その他**活動計算書を参照してください** | 事務員増員の諸経費 |
| **法定福利費** |  700,000 | 全国NPO平均所得を目指す |  |
| (予備費)法人税（県•市）和歌山県•市　神奈川県　横浜市 |  145,500 | 横浜市法人税2016年度より値上がり |  |
| 当期支出合計(C) | 15,795,500 |  |  |
| 当期収支差額（A）-(C) |  | 254,500 |  |
| 次期繰越差額（B）—（C） |  |  | 12,090,335 |